

TATSUJIN式 PartsC.5

スタンダード版

◆特徴◆

- 初心者、少人数、短期間でコストダウン検討を行える
- 開発初期段階で精度の高いコストダウンの目処をつけられる
- 30～50%ダウンという根本的なコストダウンができる

◆概要◆

- ① 企画・仕様検討段階でコストダウン検討をするために
 - ・図面がない状態でコストダウン検討を行うことが必要です。本手法は、新規設計といえども、70～80%は過去類似装置の応用・転用による設計であることに着目。参考とする類似装置の部品表、図面、3Dモデルを利用して、企画・仕様検討段階で深いコストダウン検討を行う手法です。
- ② 根本的なコストダウンを図るために
 - ・基本構造をシンプルにする
 - ・機能や手段、部品点数に分解して見直すことが必要です。機能展開法、V.E.手法、I.E.手法を、誰もが簡単に使えるように応用、これまでとは違う視点でアイデアを出せる手法です。
- ③ 高い精度のコストダウン見積をするために
 - ・アイデアをコストで評価することが必要です。出されたアイデアを部品コストに換算、アイデアの課題の難易度から実現性を評価し、高い精度のコストダウン見積が得られます。
- ④ 短期間で誰もが出来るために
 - ・手順ややり方のコツが明確である
 - ・データ集計等の作業を低減することが必要です。多くの企業で実践してきた手順やコツを手法テキストとして提供。難しい手法の習得は必要ありません。また、必要な情報の収集、加工、出てきたアイデアのコスト計算等の作業を支援する専用ソフトウェアも作業工数低減に貢献します。

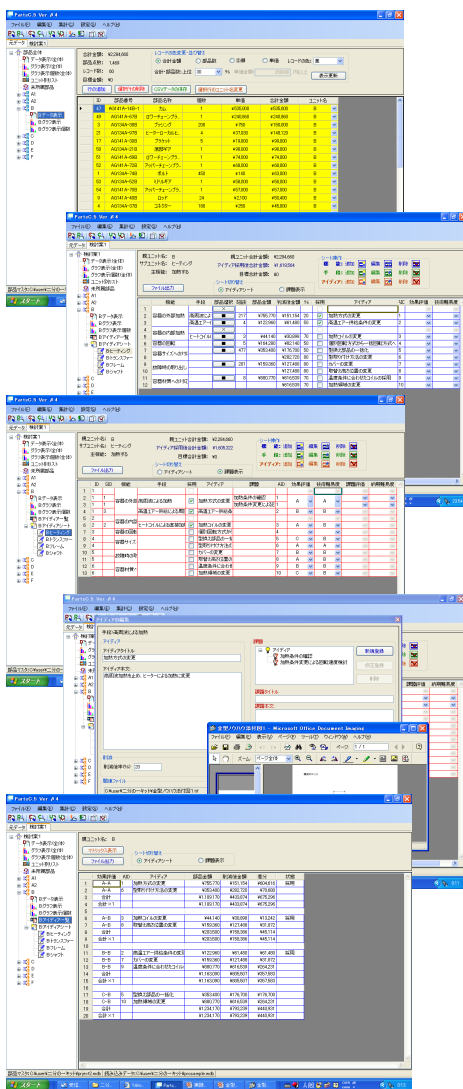
◆キット内容◆

- ・手法実践テキスト 1冊
- ・支援ソフトウェア 1ライセンス
- ・CD-ROMメディア 1枚
(支援ソフトウェア、操作マニュアル、手法テキストデータ)

定価 ¥198,000 (税込 ¥207,900)

この商品の詳細はこちら

<http://www.kwork.jp/partsc5>





◆手法テキスト概略◆

■手法をお客様自身で実際に実践して頂くための図解式テキストです。作業の各段階ごとに、作業目的、作業手順、必要な情報、実践のコツを詳しく記載してあります。(概略を以下に示します。)

【計画段階1】

<作業目的> 参考装置の現状を調査し、コストダウン目処を立てる。

<作業手順>

- ①参考とする過去の類似装置の設計部品表、部品コストマスターを入力し、部品番号・員数・コストが記載された調査部品表を、装置全体、アッセンブル単位で作成する。
- ②作成された調査部品表から、部品コストと部品点数のパレート図を作成。
- ③パレート図とアッセンブル単位でのコスト集計を分析、どのアッセン、どの部品群を狙えばコストダウンが図れるかの目処を立てる。

<必要な情報> 類似参考装置の設計部品表、部品コストマスター情報
<実践のコツ>

参考装置の部品コスト、部品点数のパレート図をアッセンブル単位で作成し分析すると、そのアッセンブルの傾向が解ります。分析のポイントは、部品コストパレート図の上位20%の部品がどれくらいのコストや点数を占めているか。80%を占めるようなアッセンブルは大幅なコストダウンを図れる要素があります。(このようなアッセンブルはパレート図の傾きが二乗関数的になっているので一目瞭然です。)もし、パレート図の傾きが緩く上位部品が占める割合が少ない場合は、複数の部品を一緒に使っているケースが多いので、同時使用の複数部品をグループにして再度パレート図を作成してみましょう。

【計画段階2】

<作業目的> 新規レイアウトを検討する。

<作業手順>

- ①過去類似装置の基本レイアウトを製品流れに従って工程分析する。
- ②工程を一緒に出来ないか、無くせないかなどを検討し、新装置の基本レイアウトを複数案作成する。
- ③案毎に実現課題を洗い出す。
- ④工程数削減効果と実現性難易度を評価し、新規レイアウトの仮決定。

<必要な情報> 類似参考装置の組図、競合他社の情報
<実践のコツ> 大幅なコストダウンを図るためには、基本レイアウトをシンプルにするアイデアを出す必要があります。シンプル化のアイデアは、参考装置を設計してきた設計者が持っている場合が多いです。また、競合他社の装置のカタログ、写真、操作マニュアル等からシンプル化のアイデアを得ることも少なくありません。

【計画段階3概略】

目標コストを新基本レイアウトのアッセンブル単位へブレイクダウン。新規開発要素にいくらかけられるのかも併せて算出する。

【実行段階概略】

機能展開法を応用して、各アッセンブル単位で機能・手段の洗い出し。短期間で出来るように3段階で作業。また洗い出された機能・手段を実現している部品群を照合し、機能・手段のコスト、部品点数を算出。VE手法を応用して、機能や手段の見直しや、部品点数削減のアイデア出し。アイデアを殺さないやり方で実践。

【確認段階概略】

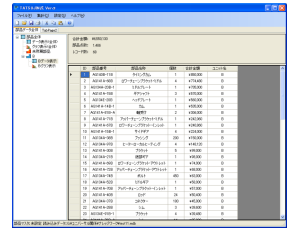
アイデアをまず効果や難易度でコスト評価、またアイデアを実現するための課題から実現性を評価。より高い精度のコストダウンの目処をつける。

◆支援ソフトウェア機能概略◆

- 設計部品表と部品コストマスターから調査部品表を作成する機能
- ・設計部品表や部品コストマスターをcsvファイル形式で取り込み
- ・部品番号、部品名称、部品単価、員数など、お客様毎に違うフォーマットもカスタム設定機能で簡単に取り込みができます

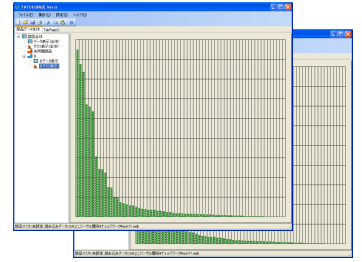
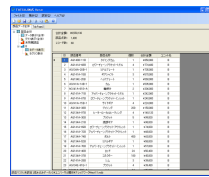
部品番号	部品名称	員数

部品番号	部品名称	単価



※イメージ

- 調査部品表から部品コスト・点数順位のパレート図作成機能
- ・装置全体や、アッセンブル単位でパレート図を作成
- ・上位20%以上の表示や、平均値、標準偏差値等必要な情報も表示
- ・結果を印刷できます



※イメージ

- 新基本レイアウト案のコストシミュレーション機能

- ・参考とした類似装置調査部品表からアッセンブル単位でのコスト集計
- ・目標とする総コストから、新基本レイアウト案毎にアッセンブル単位での目標コストや、新機能に掛けられるコストを計算
- ・新基本レイアウト毎の課題リストも添付できます
- ・新基本レイアウト案を複数保存できます

- アイデアシートへの機能・手段記入と調査部品表とのリンク機能

- ・アッセンブル単位で洗い出された機能・手段をアイデアシートに記入
- ・手段を実現している部品群を、調査部品表の部品番号、員数、コスト等の必要な情報とリンクできます
- ・洗い出しに使用した図面やその他情報を添付できます

- アイデアシートへの削減アイデア記入と削減コスト計算機能

- ・機能、手段ごとに出力された削減アイデアをシートに記入
- ・アイデアごとに実現性と効果の属性を記入
- ・機能、手段にリンクされた部品群のコストや員数から、アイデアごとの削減コスト額や員数を計算

- アイデアの課題評価と削減コスト計算機能

- ・削減アイデアの課題をシートに記入
- ・課題ごとに実現性の属性を記入、評価
- ・機能、手段にリンクされた部品群のコストや員数から、実現性を加味した削減コスト額や員数を計算

動作環境

- OS: Microsoft Windows 2000 SP4以降/ XP (Home/Professional Edition) SP2/ Vista (Ultimate、Business、Home Premium、Home Basic)
※Windows Server 2003などの Serverプラットフォームは対象外
※アップグレードインストールによりセットアップされたOSは対象外
- CPU: Intel Pentium4 2.2GHz以上を推奨
- メモリー: OSの推奨システムメモリ+ 512MB以上を推奨
- HDD: 100MB以上の空き容量が必要
- ディスプレイ: 1024×768以上の解像度
- その他: CD-ROMドライブ(インストール時に必要)
LAN接続用のネットワークカード(セキュリティ認識に必要)

◆オプションメニュー◆

- 集合研修式 講習会 (半日)
- 内容
 - ・講義とワークショップ
 - ・支援ソフトウェア「Parts C.5」の使い方
 - ・1社で10名以上の参加の場合は、訪問形式でお客様個別に開催も可能
 - 金額
 - ・1人¥38,000 (税込¥39,900)
- 訪問支援式 コンサルパック
- 内容
 - ・お客様の実設計機器を対象に実施
 - ・講習: 半日×1回+実務指導: 1日×4回
 - ・10名様まで
 - 金額
 - ・¥1,500,000 (税込¥1,575,000)
- ※効果をさらに高めるために、3ヶ月の実務指導型のコンサル支援もごさいます。

平成20年7月18日作成

◆販売代理店◆

◆開発元◆

株式会社 ナレッジワークマネジメント
E-mail: kwork_support@kwork.jp
URL: http://www.kwork.jp/